

いなづま



平成二十七年八月一日にオープンした函館アリーナ

就任挨拶

理事長 玉津 眞史

平成二十七年五月二十六日、第六十七回通常総会において理事に選任され、その後臨時理事会での互選により、理事長に就任いたしました。前伊東理事長のもとで、副理事長として四年間、組合事業運営に携わり、多くのことを学ぶことが出来ました。まだまだ未熟ではありますが、組合の発展の為に運営に関わっていきたいと思います。

今年度前半の主たる事業である、第二十三回大レクリエーション大会には北海道電力の社員の皆様はじめ、多くの組合関係者の参加により成功裡に終了することが出来ました。また八月二日の、港まつりワッショイはこだでの電線マンパレードには、例年より多くの参加をいただき心より感謝いたします。

当組合の現時点の組合員数は一九一社です。四年前まで二百社でしたが、減少傾向は少子高齢化等の影響で今後も続くと思われます。以前から言われていたが、組合員の減少は組合運営にも厳しさを増すと思われます。

また、現在進行中であります電力小売の自由化、電力会社の送電分離など、今まで経験のない新しい時代に突入しています。当組合においても将来の変化に対応するために、街路灯維持管理、イルミネーション設置、ロードヒーティング保守等新事業の開拓に取り組んできました。今後もより一層努力が必要になります。

日本の経済成長をアベノミクスの政策に期待していますが、北海道においては、効果は限定的になると思われます。公共事業や企業の設備投資の減少は、電気業界にとっては厳しい環境になると想像されます。組合事業においては効率化と経費節減を念頭に運営してまいります。組合員各位の御協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

終わりになりますが、この度退任されました伊東前理事長、館協前理事、坪前理事、矢本前監事におかれましては、永年に亘って貢献されました。組合員を代表して心から感謝申し上げます。簡単ですが就任の挨拶とさせていただきます。

役員会だより

第二回役員会

二七・五・八

一、慶弔報告

- (㊦) 丸伊イトウ電気商会代表者ご尊父逝去
- (㊦) 金子電気代表者ご母堂逝去
- (㊦) 平井電気代表者病氣見舞い

二、貸付報告

- 一件五〇万円

三、各支部報告並びに提案事項

- 各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

- (1) 定期健康診断の実施結果について
- (2) 平成二七年度（第六七回）通常総会について
- (3) 道工組平成二七年度総代会について
- (4) 平成二七年度道工組一般功労表彰（事務局職員）の推薦について
- (5) 事務局長の選任について

五、事業委員会事項

- (1) 内線工事会社研修会の開催結果について
- (2) 提案型技術営業研修会の開催結果について
- (3) 引込線工事士認定講習・認定試験の開催結果について
- (4) イルミネーション撤去工事並びに決算報告について
- (5) 第二種電気工事士試験（学科）受験準備講習会について
- (6) 北電・組合引込線工事士等運営協議会の開催について
- (7) 北工連絡会の開催について
- (8) 引込線工事士安全技能講習（無墜落昇降柱法訓練）の実施について
- (9) 函館工業高校電気科生徒インターンシップ現場実習の受入について

六、その他

- (1) 青年部平成二六年度決算報告及び平成二七年度予算説明
- (2) 第二三回大レクリエーション大会の開催について

第二回役員会

二七・五・二六

一、慶弔報告・無し

二、貸付報告・無し

三、各支部報告並びに提案事項

- 各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

- (1) 組合員の異動
- (2) 平成二七年度（第六七回）通常総会の開催について
- (3) 第二三回大レクリエーション大会の開催について
- 五、事業委員会事項・無し
- 六、その他
- (1) 平成二七年度道工組通常総代会について

第三回役員会

二七・六・一二

一、慶弔報告・無し

二、貸付報告・無し

三、各支部報告並びに提案事項

- 各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

- (1) 平成二七年度（第六七回）通常総会の開催結果について
- (2) 組合員の異動
- (3) 役員の担当業務及び総務委員会・事業委員会委員の委嘱について
- (4) 退任役員の慰労金の支出について
- (5) 伊東前理事長の顧問就任について
- (6) 事務局職員の夏季賞与の支給について

五、事業委員会事項

- (1) 第二種電気工事士試験（学科）受験準備講習会の開催結果について
- (2) 第二種電気工事士試験（技能）受験準備講習会の開催について
- (3) 安全大会の開催について

六、その他

- (1) 港まつりへの参加について
- (2) 新・旧役員懇談会について
- (3) 全日電工連全国大会について

第四回役員会

二七・八・一九

一、慶弔報告

- 伊藤電気商会代表者ご母堂逝去

二、貸付報告

- 一件五〇万円

三、各支部報告並びに提案事項

- 各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

- (1) インターンシップ実施結果について
- (2) 第二三回大レクリエーション大会の開催結果について
- (3) 平成二七年度年末特別融資の案内について
- (4) 「いなづま」一三八号の発行について

五、事業委員会事項

- (1) 引込線工事士安全技能講習（無墜落昇降柱法訓練）の実施結果について
- (2) 検満合同安全パトロールの実施結果について
- (3) 第二種電気工事士試験（技能）受験準備講習会の開催結果について
- (4) 安全大会の開催結果について
- (5) 港まつりへの参加結果について
- (6) 第一種電気工事士試験（学科）受験準備講習会の開催について
- (7) 一級引込線工事士安全技能講習の開催について

六、その他

- (1) 函館駅前広場イルミネーション業務プロポーザルへの応募について
- (2) 弘前地区電気工事業協同組合の研修訪問について
- (3) 電気工事技能競技大会について

組合行事

- 4月3日 八雲支部総会
- 7日 検満業者打合せ会議
- 10日 北電関連工事安全協議会函館配電部会に吉田理事出席（北電函館支店）
- 14日 北部支部会議

15日	第一種電気工事士定期講習（ロワジュールホテルⅡ九五名受講）
16日	定期健康診断（組合Ⅱ二六三名受診）
17日	渡島支部会議
17日	東部支部研修旅行（大阪・京都方面）
21日	正副理事長・事務局局長会議
21日	東部支部総会
23日	西部支部会議
23日	労働保険の更新手続（組合会議室）
24日	総務委員会
25日	江差支部総会
27日	北電・道工業組合本部連絡協議会に伊東理事長出席（道電気会館）
28日	道工業組合役員会に伊東理事長・玉津副理事長出席（道電気会館）
30日	組合期末監査
5月7日	道工業組合監査に玉津副理事長出席（道電気会館）
8日	検満業者打合せ会議
8日	総務委員会・事業委員会
10日	第一回役員会
10日	第二種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンターⅡ二一名受講うち組合員一六名）
12日	道工業組合役員会に伊東理事長・玉津副理事長出席（道電気会館）
12日	街路灯運営協議会
15日	検満業者打合せ会議
17日	第二種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンターⅡ二一名受講うち組合員一六名）
19日	中央会理事会・総会に伊東理事長出席（ホテル函館ロイヤル）
21日	東部支部会議
23日	西部支部会議
23日	渡島支部会議・観桜会
24日	第二種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンターⅡ二一名受講うち組合員一六名）

26日	員一六名
26日	総務委員会・事業委員会
29日	第六七回通常総会（本人出席五二名）
31日	正副理事長・事務局局長会議
31日	第二種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンターⅡ二一名受講うち組合員一六名）
6月4日	検満業者打合せ会議
6日	江差支部会議
9日	道工業組合通常総会役員一三名・奥村事務局長出席
11日	函館港まつり「ワッショイはこだて」参加団体事前説明会に奥村事務局長・伊藤主任出席（サンリフレ）
12日	第三回役員会
12日	北工連絡会（組合会議室Ⅱ北電一一名・組合二〇名出席）
17日	北電・組合引込線工事士等運営協議会（組合会議室Ⅱ北電五名・組合九名出席）
23日	大レクリエーション大会担当特別委員会
24日	二級引込線工事士安全技能講習（組合会議室・北電資材管理跡地Ⅱ一二七名受講）
26日	青年部大レクリエーション大会打合せ会議
30日	八雲支部会議
7月2日	東部支部会議
3日	検満業者打合せ会議
5日	第二種電気工事士（技能）受験準備講習会（ポリテクセンターⅡ一九名受講うち組合員一三名）
8日	函館工業高校インターンシップ安全講習・太平洋セメント上磯工場見学・知内発電所見学（工業高校生徒四〇名）
9日	全道事務局長会議に奥村事務局長出席（道電気会館）
9日	函館工業高校インターンシップ現場実習（組合九事業所ほか五企業・団体生徒四〇名）
10日	第二三回大レクリエーション大会（グリーンピア大沼Ⅱ三三二名参加）
12日	第二三回大レクリエーション大会（グリーンピア大沼Ⅱ三三二名参加）

全日	第二種電気工事士（技能）受験準備講習会（ポリテクセンターⅡ一九名受講うち組合員一三名）
13日	道工業組合役員会に玉津理事長・大倉副理事長出席（道電気会館）
全日	函館港まつり「ワッショイはこだて」参加団体責任者会議に奥村事務局長・伊藤主任出席（サンリフレ）
14日	北電・組合合同安全パトロール（北電六名・ほくでんサビビス二名・組合五名）
17日	西部支部会議・懇親会
19日	第二種電気工事士（技能）受験準備講習会（ポリテクセンターⅡ一九名受講うち組合員一三名）
21日	港まつり担当特別委員会
24日	安全大会（組合会議室Ⅱ一二〇名出席）
27日	福島支部安全大会（北電福島営業所Ⅱ一八名出席）
全日	福島支部二級引込線工事士安全技能講習（北電福島営業所Ⅱ一七名受講）
28日	江差支部安全大会（北電江差営業所Ⅱ一七名出席）
全日	江差支部二級引込線工事士安全技能講習（北電江差営業所Ⅱ一六名受講）
30日	八雲支部安全大会（北電八雲営業所Ⅱ一九名出席）
全日	八雲支部二級引込線工事士安全技能講習（北電八雲営業所・館脇電気倉庫Ⅱ一五名受講）
8月2日	函館港まつり「ワッショイはこだて」（一四二名参加）
4日	検満業者打合せ会議
8日	東部支部親睦会
10日	正副理事長・事務局局長会議
19日	総務委員会・事業委員会
全日	第四回役員会
25日	第一種電気工事士定期講習（ロワジュールホテルⅡ一六名受講）
26日	検満業者打合せ会議
31日	いなづま編集会議

9月6日 第一種電気工事士（学科）受験準備講習会
（ポリテクセンターII組合員一五名）

10日 事業委員会

13日 第一種電気工事士（学科）受験準備講習会
（ポリテクセンターII組合員一五名）

15日 道工業組合役員会に玉津理事長・大倉副理
事長出席（道電気会館）

全日 北電・道工業組合本部連絡協議会に玉津理
事長出席（道電気会館）

18日 弘前地区電気工事業協同組合研修訪問

20日 第一種電気工事士（学科）受験準備講習会
（ポリテクセンターII組合員一五名）

27日 第一種電気工事士（学科）受験準備講習会
（ポリテクセンターII組合員一五名）

第六十七回 通常総会開催

平成二十七年
度第六十七回
通常総会が五月
二十六日（火）、
組合会館大會議
室において組合
員定数百八十八
名中本人出席
五十二名、委任
状出席百十三名
で開催された。
奥村事務局長
が午後一時三十
分に開会を宣
言。次いで伊東
理事長より挨拶



があり、今期をもって理事長を退任する旨が表明された。
次に議長の選出に移り、指名推薦により北部支部の
石塚徹氏（協同電気通信㈱）が選出され議案の審議に
入った。

第一号議案

平成二十六年度
事業報告、財産
目録、貸借対照
表、損益計算書
及び剰余金処分
（案）について
事務局より内容
説明の後、原案
通り可決決定

第二号議案

平成二十七年
度事業計画（案）
並びに収支予算（案）について
事務局より内容説明の後、原案通り可決決定

第三号議案

平成二十七年
度役員報酬について
事務局より内容説明の後、原案通り可決決定

第四号議案

平成二十七年
度組合借入金残高の最高限度額の決定
について
事務局より内容説明の後、原案通り可決決定

第五号議案

平成二十七年
度一組合員に対する貸付け（手形の割
引を含む）又は一組合員のためにする債務保証の
最高限度額の決定について
事務局より内容説明の後、原案通り可決決定



第六号議案

任期満了に伴う理事及び監事の改選について
議長は、改選の方法について議場に諮ったところ、
議長一任の声があり、事務局提案として選考委員に
よる指名推薦の方法を提示し、選考委員の選任を行
い、選考に入り理事十二名、監事二名の選任を行い、
承認を得て可決決定した。

第七号議案

北海道電気工事
業工業組合総代
及び推薦委員の
選出について
事務局より理事
会へ一任願いた
い旨の提案があ
り、承認を得て
可決決定。

以上、すべての
議案について原案
通り可決し、午後
三時二〇分、議長
は閉会を宣言し平
成二十七年通常総会は終了した。

総会終了後、臨時理事会が開催され、選任された理
事の中から理事長にタマツ電機工業㈱玉津眞史氏が選
出され、電力の自由化や発送電分離、若年技術者不足
など業界は課題も多く難しい状況だが、皆さんと力を
合わせ運営に当たると決意表明した。

また、副理事長に㈱対馬電設對馬豊四郎氏が留任、
大倉電気㈱大倉直氏が新任された。館脇電気工業㈱館
脇渉氏、ソボ電設工業坪光雄氏、㈱里見電気工事矢本
里美氏が退任され、日東電気工事㈱土谷禎宏氏、㈱中
電設工事中野英氏、㈱イナミ電気工業稲見昭夫氏、協
同電気通信㈱石塚徹氏を新任した。



新役員紹介



理事（渡島支部長）
吉田 好
昭和三十四年十二月生
株式会社谷電気工業所
代表取締役



理事（福島支部長）
繁田 一義
昭和十九年十二月生
株式会社繁田電工
代表取締役



副理事長
大倉 直
昭和三十五年二月生
大倉電気株式会社
代表取締役



副理事長
對馬 豊四郎
昭和三十年三月生
株式会社対馬電設
代表取締役



理事長
玉津 眞史
昭和二十六年五月生
タマツ電機工業株式会社
代表取締役



理事（西部支部長）
高井 秀昭
昭和三十五年四月生
株式会社進成電機機械工業所
代表取締役



理事（八雲支部長）
稲見 昭夫
昭和二十九年八月生
有限会社イナミ電気工業
代表取締役



理事
土谷 禎宏
昭和四十六年八月生
日東電気工事株式会社
代表取締役



理事（江差支部長）
國仙 勝彦
昭和三十一年二月生
株式会社松山電気工業
代表取締役



理事（東部支部長）
伊東 照勝
昭和三十五年二月生
有限会社丸伊イトウ電気商会
代表取締役



理事（北部支部長）
大谷 治身
昭和二十六年四月生
株式会社平松電気工務所
代表取締役



顧問
伊東 研一
昭和二十二年一月生
ユタカ電機株式会社
代表取締役



顧問
佐藤 征次
昭和十三年九月生
佐藤電気工事株式会社
代表取締役



顧問
吉田 要
昭和三年八月生
函館拓北電業株式会社
代表取締役



監事
石塚 徹
昭和五十一年九月生
協同電気通信株式会社
代表取締役



監事
平沼 冠三
昭和二十四年九月生
樺電工業株式会社
代表取締役



理事（青年部長）
中野 英
昭和四十七年八月生
株式会社中電設工事
代表取締役

第二十三回 大レクリエーション大会

今年度の第二十三回 大レクリエーション大会は例年より一週間遅い七月の第二週となる七月十二日(日)にグリーンピア大沼にて開催されました。天気予報通り素晴らしい快晴となり、絶好のレクリエーション日和となりました。

今年は組合員、家族、ほくでん、電設資材関係の参加者が合計で三三二名となり盛大に開催されました。午前八時頃から機材を満載に積み込んだ青年部員各社のトラックが順次到着し、青年部員が首や頭にタオルを巻きながら十時の開会式へ向けて総出で準備を開始しました。準備の最中に音響アンプが破損するトラブルもありましたが、定刻通り十時に開会式が行われ、中野青年部長の開会宣言、大会長となる新任の玉津理事長の挨拶と続き、来賓の北海道電力(株)函館支店執行役員函館支店長 濱谷将人様、函館市議会議員 井田範行様のご挨拶を頂戴した後に、全員で体を解すためのラジオ体操を行って競技開始となりました。

まずは、オープニング競技として恒例のジャンケン大会ですが、子どもから大人まで真剣勝負で盛り上がり、今年も子どもが決勝まで勝ち残って会場を盛り上げました。次に支部対抗の綱引き大会一回戦が行われ、西部支部、渡島支部、東部支部、合同(江差・八雲・福島)支部チームが準決勝に進みました。中でも昨年は電材チームに後塵を拝しましたが、二十回大会と二十一回大会に優勝をしている合同(八雲・江差・福島)チームは圧倒的な強さで勝ち上がり、今年も優勝か?と思わせる内容で会場を沸かせました。

続いて小学生以下対象の紅白玉入れが行われ、小学校の運動会さながらの熱い勝負の後、女性らが多く参加する借物ゲームで更に会場が盛り上がった後に、〇×クイズを行って参加された皆さんが楽しみにしている昼食タイムとなりました。昼食には、朝八時過ぎから青年部員らが焼鳥、焼きそば、フランクフルト

などを調理した物が振る舞われ、運動をして体力を消費したおなかを満たしてくれました。また、縁日コーナーでは気温も高かったことから、かき氷に子供達が並ぶ光景も見られたほか、クジ引きではお祭りのような雰囲気でも子ども達が多いに楽しんでいる姿も見られました。

昼食後しばし休憩の後に午後の競技であるビンゴゲームが開催された後、支部対抗綱引きの準決勝が行われ、渡島支部と合同(八雲・江差・福島)の二チームが決勝へと進みました。続いて両チームは決勝に向けて休憩をとっている間に、子ども綱引き、女性のみの綱引きが開催され子ども、女性らの熱い戦いが展開されました。引き続き女性を対象とした椅子取りゲームが行われ、綱引きの疲れを感じさせない軽快なステップで椅子をゲットする姿が会場に大きな歓声と笑いを提供してくれました。そしていよいよレクリエーションのクライマックスとなる支部対抗綱引きの決勝です。前評判通りの強さを誇る合同チームと渡島支部との戦いになりました。両者ともに一歩もゆずらない真剣勝負となりましたが、経験と実力が勝った合同チームが昨年の悔しさを晴らし、二年ぶりとなる



ンのクライマックスとなる支部対抗綱引きの決勝です。前評判通りの強さを誇る合同チームと渡島支部との戦いになりました。両者ともに一歩もゆずらない真剣勝負となりましたが、経験と実力が勝った合同チームが昨年の悔しさを晴らし、二年ぶりとなる

栄冠を勝ち取りました。大レクリエーションが開催されて以来、近年は支部対抗綱引きにおいて合同チームが圧倒的な強さを誇り、この強さを止められるのはどの支部なのか、来年の大会が非常に楽しみとなりました。そして綱引き大会の余韻が残る中、プログラム最後となる大抽選会が行われ会場のあちこちで歓声や溜息が聞こえましたが、多くの参加者に豪華景品が当たり全プログラムを終了しました。閉会式は、大会委員長の大倉副理事長より北海道電力(株)、電材及びメーカー各社、その他協賛して頂いた関係各社に対しての御礼と、青年部員に対しての労いの言葉が述べられ、その後全員で後片付けと清掃を行い、今年の大レクリエーションも大盛況で終える事が出来ました。(土谷)



新加入組合員の紹介

平成二十七年加入の組合員を紹介いたします。



(株)カドック (北部支部)

男 澤 泰 郎

昭和二十五年十一月二十日生
函館市西桔梗町五八九一二五七
電話 〇一三八一四八一一二二
推薦人「青函電気(株)・佐藤電気工事(株)」

(加入年月日)平成二十七年六月二十五日)

函館港まつり「ワッシヨイはじだて」



八月一日から五日間にわたり開催されました『開港一五六周年記念 函館港まつりワッシヨイ』はこだて十字街・松風コースに当組合も毎度お馴染みの電線マン音頭にて今年も参加いたしました。

事前の担当委員会にて昨年は廃止してしまいました高所作業車を一台のみ復活し後方から踊りを照らし、また我々の仕事で欠かせない特種車輛を使い業界のアピールしようということで再登場となりました。

今年人気がありました三羽の巨大雀を廃止することとし、またここ数年ボランティアにて山車の上で我々のパレードを盛り上げてくださった太鼓のオジサンをお断りし（スママセン）その代わりに電線マンを八人から十二人に増員し、山車の上に折角の広いステージのようなスペースがあるので電線マンが山車上で踊ってパレードを盛り上げようということに決定しました。入念な打ち合わせを行い山車の制作も若干の雨もありましたが、無事終了し、いよいよ当日です。

午後五時に組合員とその家族、各電材問屋の方々の一四二名が末広町の集合場所に集まりまずは用意されたおにぎりビール・ジュースで腹ごしらえをしました。

また今年も渡島コロニーから生徒さんと関係者の方々の参加者に加え総勢約一八〇名での参加となりました。

さてここからパレード本番となりますが問題がノ例年電線マンを選出する際に新入青年部員と電材問屋の若手の方はな



かば強引に電線マンに決定ノという慣例の中（あくまでも本人に同意を頂いております）ここ近年、電線マン音頭を知らないという若手世代が増えてきているという嘆かわしい問題が発生しましたノここはやはり青年部が先頭にたつてまずは入念な練習踊りからです。作並青年部副部長がマイクを取って熱いノ熱いノ指導が入ります。

今年の電線マンレッドもとい電線マンリーダーに

選ばれた作並副部長の今年のパレードの目標は『パシツとノ綺麗に八列に並んで踊る電線マン音頭！』ということとその指導には松岡修造ばりの気持ちがあつています。指導の甲斐あつてなんとか若手電線マン達も形になってきて準備万端いよいよスタートです。

さすが今年で二十七回目の参加の電線マン達は沿道の人

気・知名度ともに抜群です。リズムに合わせたの手拍子や踊りは勿論のこと、中には沿道の女性ファンのかたと一緒に写真を撮るがめれた電線マン



もいたとか、いないとか：そんな中で徐々に上がったテンションを駅前のメイン交差点から広小路の審査員席までの一番お客さんが多い区間で一気に開放し、参加者一丸となって大盛り上がりなの電線マン魂を伝えパレードは終了しました。また事故や怪我もなく無事に終了しましたことも併せて報告いたします。

パレードの興奮も冷め止まぬ中、ロイヤルホテルに移動し直会を行い、冷えたビールで労をねぎらい喉を潤しました。

前日一日の花火大会では時折の小雨もあり、天気も心配されましたがなんとか持ち、蒸し暑さはありませんが汗も心地よく、イカ踊りなどの他団体にも負けな

い盛り上がりを見せ笑顔の絶えない本場に素晴らしいパレードとなりました。

当初の目標であつた『パシツとノ綺麗に八列に並んで踊る電線マン音頭！』の目標も達成され（？）後日行われた審査において審査員特別賞の『団結賞』を頂き作並青年部副部長が表彰式に出席し賞状を受け取りました。

最後に毎年ご協力を頂いている青年部の皆様を始め、参加頂いた組合員とその御家族の方々、また御協賛頂いております電材問屋各社並びにメーカー各位におかれましては厚く御礼申し上げます。（中野）

電気工事業法に基づく立入検査

電気工事業の業務適正化に関する法律（電気工事業法）第二十九条第一項に基づく立入検査が渡島総合振興局により、二月二十七日から三月二十七日にかけての延べ五日間、二十七事業所を対象に実施されました。

検査における指摘事項としては、電気工事整理簿について記載の不備や、誤りなどの指摘事項が多く、しゅん工書類の過去五年分の保存状況やが悪い点などがありました。

今後、各組合員の皆様におかれましては、各工事内容の吟味、主任電気工事士における管理など再確認のうえでの電気工整理簿への記載、諸手続きの忘れや書類の紛失など十分注意していただき、適法・適正な運営を心掛けてくださるようお願い申し上げます。

標 識		指 摘 事 項		件 数	
計	13	店舗用標識が掲示されていない	登録・届出番号の記載なし及び記載誤り	0	0
		登録・届出の年月日の記載なし及び記載誤り	氏名又は名称の記載なし及び記載誤り	0	0
		代表者の氏名の記載なし及び記載誤り	営業所の名称の記載なし及び記載誤り	0	0
		電気工事の種類の記載なし及び記載誤り	主任電気工事士等の記載なし及び記載誤り	0	0
		電気工事業整理簿	備え付けなし	0	0
		注文者の氏名又は名称及び住所の記載なし	電気工事の種類及び施工場所の記載なし及び誤り	1	1
		受注・着工・竣工年月日の記載なし	主任電気工事士等及び作業者の氏名の記載なし及び記載誤り	1	1
		配線図・検査結果	過去五年分の全部又は一部の保存なし	2	2
		器具の備付	器具の備付	0	0
		試験装置のリース契約を更新していない	試験装置のリース契約書紛失	0	0
		変更事項等の事務手続きを行っていない	登録等	0	0
		無資格者を作業させている	業務	0	0
		電気用品安全法に準じていない電気用品の使用	その他	0	0
		免状等紛失		0	0

青年部活動について

現在青年部は、平成二十七年五月三十日にホテルテトラにおいて開催された通常総会において五名の新入部員を加え、事業所による部員の入替などを含めると部員総勢四十七名にて活動しています。部員数は十勝電協、札幌電協に次ぐ全道で三番目の規模で、役員一〇名にて活動しています。

今年度は例年どおりの事業でありますが大レクリエーション大会や港まつり等親会事業への協力を行いました。特に大レクリエーション大会では運営をよりニーズに合ったものとすべく、アンケート調査を行いました。この結果を活かしながら、次年度以降より良い大レクリエーション大会を作り上げていけるよう青年部で検討していきたいと考えております。

その他の活動としては、さる八月三十日に函館市港町有川埠頭にて開催された、函館私立幼稚園PTA連合会主催による「第四回はたらくのりも大集合in函館」への参加協力を行いました。昨年度の「はたらく車」というタイトルから「乗り物」全般へとグレードアップし、展示車両数も種類も増え、我々も少年に返り、胸を躍らせるような乗り物ばかりで、年々大きなイベントになりつつあるようです。今回も昨年同様、高所作業車三台にて試乗体験を行いました。体験できる乗り物が限られていることから、高所作業車は大人気、長蛇の列は途切れることなく続き、大レク



力会社への対応など親会の正副理事長、青年部の正副部長にて意見交換を行い、有意義な時間となりました。

今後の青年部活動としては、研修会や親睦事業を計画しており、詳細が決定し次第、青年部の皆様へ発信していこうと考えております。その際には多数の皆様のご参加を宜しくお願い申し上げます。



報告とさせていただきます。

函館地方電気工事協同組合青年部

副部長 作並 真一

第一種電気工事士定期講習

電気工事士法第四条の三の規定による第一種電気工事士定期講習が、一般財団法人電気工事技術講習セン

ターの主催により、平成二十七年四月十五日（九十五名受講）、平成二十七年八月二十五日（一一六名受講）にロワジールホテル函館において開催されました。ご承知の通り、第一種電気工事士は五年毎の定期講習が義務付けられており、受講しない場合は法律に違反することになり、電気工事士法第四条六項の規定により免状の返納を命ぜられることがありますので、必ず受講するようにご注意願います。

また、平成二十五年四月の制度変更により、今後の第一種電気工事士定期講習の主催団体を変更されました。

新たな指定講習期間への登録がお済みでない方は、早期に登録くださいますようお願い申し上げます。

組合員の異動

◎ 代表者の変更 (新)

(旧)

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 一、北海電気工事(株)函館支店
理事 支店長 樋口 正史 | 川本 道之 |
| 一、(株)北弘電社函館支社
函館支社長 今野 輝彦 | 中村 信幸 |
| 一、(株)東福電機工業
代表取締役 東福 和彦 | 東福 洲二 |
| 二、(株)ヤマト電気工業所
代表取締役 宮本 正彰 | 江端 正光 |

お悔やみ

平成二十七年

三月二十三日 (株)金子電気代表者ご母堂
金子シマノ殿逝去

六月 三日 (株)ヤマト電気工業所代表者
江端正光殿逝去

六月二十五日 伊藤電気商会代表者ご母堂
伊藤信子殿逝去

就任「挨拶」



北海道電力株式会社
執行役員 函館支店長
濱谷 将人

六月二十六日付で函館支店に着任いたしました。憧れの地「函館」に勤務することに深く感謝をしつつ、函館地方電気工事協同組合の皆様にご挨拶申し上げます。

着任以来三ヶ月が過ぎようとしておりますが、渡島管内、檜山管内そして函館市の方々へご挨拶にお伺いしている中で、多くの方から、「電気料金が高い」というお叱りを受けております。そして多くの方が「泊発電所を一日も早く稼働させて電気料金を下げて欲しい」というお話をされます。

例えば、我々「ほくでん」の使命は、電気を安定的に少しでも安くお客さまにお届けすることであり、お会いした皆様がおっしゃることは至極当然なお話で、恥ずかしながら私なりにこのことを再確認し、肝に銘じて参る所存であります。

組合の皆様方におかれましては既にご存知のことかと思いますが、「ほくでん」では、この使命を果たすために、泊発電所の発電再開に向けて国の原子力規制委員会の審査対応に鋭意取り組んできているところであります。既に六十数回の審査会合を経て、新規制基準への適合性の確認に向けて相当程度の進展はしておりますが、残念ながら再稼働の時期を明確に見通すまでには至っていないのが現状です。

一方、こうしたなか電力システム改革と言うこれまでの電気事業の枠組みを大きく変える動きも始まっており、組合の皆様方にも少なからず影響の出る話かもしれません。小売の全面自由化や発送電分離などの大きな課題にも取り組んでいるところです。しかし、こちらも原点に立ち返って考えてみると、お客さまにとっては、電気の利便性、安全性、快適性といった電気利用のメリットは変わるものではなく、「ほくでん」としてはこれまでも電気の安定供給を通じて、

で、こうしたお客さまにサービスを提供してきたわけです。これからも「ほくでん」はひた向きにお客さまサービスに取り組む中で、お客さまから選択され、電気の効率的なご利用を通じてお客さまに良質で満足感にあふれる電化生活をご堪能いただくという事業展開をしなければならいと考えております。エコキュートやあったかエアコン、IHクッキングヒーターなど、実際に使用いただいているお客さまからは大変ご好評いただいておりますが、今後も少しでもお客さまの役にたてますよう、様々な提案を行って参ります。

日の出にあわせて函館山に登ると、津軽海峡を取り囲むように恵山、駒が岳、知内、そして津軽半島、下北半島が見えて、その中心に函館の町が浮き立っている姿に感動いたしました。

私は微力ではありますが、この地域のために「ほくでん」の使命を果たしたいと決意しておりますので電気工事協同組合の皆様のご助力を賜れば幸甚です。よろしくお願い申し上げます。

北電・ほくでんサービス・ 組合検満工事合同安全パトロール

平成二十七年七月十四日、北海道電力(株)函館支店配電G・ほくでんサービス(株)函館支店技術課・組合による低圧検満計測器取替工事合同安全パトロールを実施しました。

今回はスマートメーター導入後、初の安全パトロールとなりました。また、今年度よりほくでんサービス副長に就任された笹谷副長に加え、スマートメーター導入に伴い、北海道計器工業(株)より配電Gへ配属された森下様、藤崎様として、組合からは高井理事が初の安全パトロール参加となりました。



二級引込線工事士安全技能講習

低圧引込線・低圧計測器工事を施工できる資格である、二級引込線工事士の安全技能講習は、今年度対象となる受講者の人数が例年より多く、六月二十三日・二十四日の二日間にあたり開催されました。

日かけてパトロールしました。初めて見る現行計器からスマートメーターへの取替工事はとても新鮮なものであり、思わず見入ってしまう場面もありました。パトロール終了後は、組合二階中会議室にて意見交換会が行われました。技術面についての指摘点は特にありませんでしたが、その他の点についていくつかの指摘事項がありました。スマートメーター取付にあたってのボックスドライバーの使用、無停電装置使用にあたってのスイッチOFF確認、電線間の短絡防止のための絶縁キャップ使用、計器取付取外の際の電線の抜き差し順序等スマートメーターの取付に関しての指摘点、そしてヒューマンエラーによる事故等の際に、事例検討会議等において再発防止策として決定された事項が励行されていない点が見られた為、指摘事項として挙げられました。

お忙しい中ご協力して頂いた皆様には深く御礼申し上げます。

最後になりますが、検満業者の皆様にはこれからも安全を第一に、どんな作業をするにあたってでも確認を怠らず、適正な工事施工に努めて頂きたいと思っております。



平成二十七年 安全大会

八月から始まる「電気使用安全月間」に先立ち、本年度の安全大会が当組合管内四箇所で開催された。函館地区では七月二十四日、組合大会議室において開催され、組合員及びその社員一二〇名が参加した。玉津理事長が「講演の内容を基に、工事内容の再確

●引込線工事士の認定は、発行日より満五年を迎える年末までの期間有効であり、その期間内に安全技能講習を受講しなければ失効します。
●引込線工事士が入退社した場合には『引込線工事士異動届』を速やかに組合事務局まで提出ください。

座学講習を組合会議室で、実技講習を北電資材管理所跡地の模擬柱を使用して実施し、組合員事業所の従業員一七七名が二日間、午前と午後に分かれ受講しました。引込線工事士運用要領改定後、二度目となる今回についても座学講習において計測器結線の正誤問題を実施しました。

また、八雲支部（十五名受講）・福島支部（十七名受講）・江差支部（十六名受講）の三支部においても、北電各営業所の協力を得て二級引込線工事士安全技能講習を実施しました。

ご多用の中、講師を務めて下さいました北電函館支店及び各営業所皆様には紙上を借りて厚くお礼申し上げます。



グループ副長の市岡勝弘氏からは最近の災害事例やその対策についてそれぞれ講演された。

最後に青年部の大鎌幸雄氏（大鎌電気㈱）が安全宣言を行い閉会した。

また、福島支部は七月二十七日（十八名）、江差支部は七月二十八日（十七名）、八雲支部は七月三十日（十九名）に各北海道電力営業所において開催された。

第二種電気工事士試験 受験準備講習会

平成二十七年第二種電気工事士試験に先立ち、受験準備講習会の学科講習が五月十日・十七日・二十四日・三十一日の四日間、技能講習が七月五日・十二日・十九日の三日間で開催されました。今年度より当組合と北海道能力開発促進センター函館訓練センター（ポリテクセンター函館）との共催となり、講習場所、講師についてもポリテクセンター函館にて実施することとなりました。

講習会においては、試験合格に向けて取り組む姿勢に、合格への強い意志が感じられました。



認を徹底し、事故に気を付けてもらいたい」と挨拶。来賓の中井祐史北電函館支店配電グループリーダーは「危険への感受性を高めるとともに、身に着けている道具の安全点検についてもしっかりやってほしい」と呼びかけた。

安全講話では、特定社会保険労務士の谷口拓也氏が、今後導入されるマイナンバー制度について解説。また、北電函館支店配電

試験は上期・下期に分けて行われ、組合員講習受講者十六名のうち、上期筆記試験（六月七日実施）受験者は十四名で、合格率は七十一・四％（全国平均六十二・四％）

上期技能試験（七月二十五・二十六日実施）受験者は十二名で、合格率は九十一・七％（全国平均七十一・八％）でした。

筆記試験に合格し技能試験にて不合格だった方については、来年筆記試験免除にて受験が可能なのでそのチャンスを活かし、是非合格を目指して再チャレンジして頂きたいと思います。

最後に、準備講習会の開催にあたりご尽力頂いたポリテクセンター函館の皆様にご挨拶して御礼申し上げます。



函館工業高校電気科生徒 インターンシップ現場実習受入

本年度も函館工業高校より当組合に対し、電気科生徒のインターンシップ受け入れ要請がありました。当組合としても電気業界の発展、そして将来を担う人材の育成の為、例年どおりインターンシップに協力することと致しました。

組合員事業所に受け入れの要請をしたところ、九事業所より受け入れ可能との回答を頂く事が出来ました。初日は、組合三階大会議室において玉津理事長より挨拶、対馬副理事長よりヘルメット・服装の確認・現場での諸注意を含めた安全講話、その後はバスにて移動し、太平洋セメント㈱上磯工場と北海道電力㈱知内火力発電所を見学させて頂きました。太平洋セメント

は初めての見学で、工場外の義朗鉱山は時間の都合上見学することはできませんでしたが、とても有意義なものとなりました。その後は知内発電所へ向かい、発電所内の発電設備等を見学させて頂いた後、函館工業高校出身の先輩方へ発電所設備等に関する質問、そして来年の進路活動におけるアドバイスも頂きました。二日目・三日目は、電気科生徒が各事業所に現場実習を行いました。また、北海道でんき保安協会・北海道電力(株)・函館とつく(株)・ウロコマシナリー・太平洋セメント(株)においても現場実習が行われ、生徒たちにとっては大変充実した三日間になったかと思えます。

最後になりますが、ご多忙の中インターンシップご協力頂きました組合員の皆様へ厚く御礼申し上げます。



ご協力を頂いた組合員

- 大倉電気(株)
- 協同電気通信(株)
- (株)新宮電気設備
- (株)対馬電設
- 北海電気工事(株)函館支店
- 梶原電気工業(株)
- (株)ケイソー
- タマツ電機工業(株)
- (株)外山電工

東支部研修旅行

東支部では四月十七日～十九日で大阪・京都に研修旅行を行いました。

東支部員三十五名中、十名と組合事務局より伊藤主任に参加していただき、十一名で函館空港集合、九時の飛行機にて羽田へ。そこで乗換、機内で弁当を食べ、伊丹空港へ到着後すぐモノレールにて門真市の松下幸之助歴史館を見学しました。誕生から創業までの「第一期 志を立てる」、創業から終戦までの「第二期 使命を知る」、終戦から社長退任までの「第三期 世界を駆ける」、会長、相談役として活躍した「第四期 夢、果てしなく」に分類し、実際の商品や当時の写真、映像、各種資料などが豊富に展示されていました。大正時代に作った差し込みプラグなどが

ら、ラジオ・テレビ・洗濯機などレトロな昭和の家電を皆懐かしがっていました。「あった あった」という声と当時の値段が書いており給料何か月分だろうという話で盛り上がり、一時間の見学を終え、タクシールにて移動後は梅田駅にあるパナソニックセンター大阪で最新の照明器具、家電等説明を聞きながら見学をしました。その後、歩いて十五分程のホテルへ到着。今日の夕食はタクシールで移動し、ミナミ定番のグリコ前で集合写真撮影後、居酒屋で串揚げ・たこ焼き・お好み焼き等大阪名物を腹いっぱい食べ、飲んで一人三〇〇〇円いかない、安いですねさすが大阪。二次会も探してスナックへ。十一時頃ホテルへ戻り無事就寝となりました。

二日目は、京都へ電車で行き定期観光バスにて金閣寺・銀閣寺・清水寺コースを見学。二十年ぶりとか、修学旅行以来で盛り上がりでしたが、どこも混んでいてしかも外国人でいっぱいでした。清水寺で昼食、にしん蕎麦など食べた人ごみの中へ。ガイドさんの話を聞きながらの見学でしたが、ただ時間がなくもつとゆくり見学したかったというのが感想です。観光バス終点の京都駅到着後、ここで支部のお土産(京漬物)を買って大阪へ戻り、今日の夕食は、和食がいいということで梅田駅近くのマグロ祭りの看板に誘われ居酒屋へ。近畿大学が世界で初めて完全養殖(人口孵化の卵から成魚まで育て、さらに卵を採取する事)に成功した近大マグロがワゴンで運ばれ、大トロ・中トロ・赤身を寿司で食べ、美味しかったです。二時間ほどで解散、各自ホテルや夜の街に出て二日目終了。

三日目は、タクシールにて大阪城を見学してからあべのハルカスへ。地上六〇階建て(高さ三〇〇m)日本で最も高い超高層ビルです。ビルの中は近鉄百貨店・ホテル・オフィス等がありました。展望入場券を買った。六〇階の屋内回廊



「天上回廊」で大阪の街を下に見て、屋外広場「天空庭園」にて一休み(ビールで乾杯)空が近く見えしました。約一時間半の見学終了し、研修もここまで。十二時に伊丹空港に着き、昼食をとり羽田経由で無事に函館へ到着しました。

三日間は天候もよく、見学は何かとせわしなく混雑ばかりでした(特に外国人の観光客が多かった)。大阪での買い物・食事は本当に安く済み、大阪のタクシールの運転手さんの関西弁も面白く、またいろいろ大阪のこと聞きました。大阪では、安い・美味しい店しかないです」と言っていたのが印象に残りました。さすが商人の町ですね、初めて二泊三日の研修旅行でしたが有意義な旅行になったと思います。参加者の方々大変お疲れ様でした。今回は少ない人数でしたが、また企画を練り、研修旅行を行いたいと思いますので、ご案内の際には是非ご参加お願いします。

東支部支部長 伊東 照勝

■今月の表紙について

函館アリーナ

老朽化した函館市民体育館に替わる施設として、平成二十七年八月一日、湯川地区に函館アリーナが誕生しました。

メインアリーナが五千入、サブアリーナが一千人の収容規模を誇り、各種スポーツ競技やコンベンションにも対応可能な施設として建設されました。

函館アリーナと同日にオープンした日吉町の函館フットボールパークとともに、今後、全国・全道規模のスポーツ大会や集会などの開催を通じて、交流人口の拡大が図られることによる函館市の更なる活性化と新たなランドマークとしての役割も期待されるところです。

また七月二十五日、二十六日は、こけら落とし公演として函館出身のロックバンドGLAYにスペシャルライブが開催され、二日間約八千人の全国のファンが函館を訪れました。

題字 小寺 寛一(第二代理事長)

発行所 函館地方電気工事協同組合
編集所 総務委員会
住所 函館市日乃出町7番22号
印刷所 龍文堂印刷株式会社

 河村電器産業株式会社 北海道支店函館営業所 北海道支店 ☎ 003-0006 TEL (011) 822-1111 FAX (011) 822-1111 函館市本町六十五 富士火災函館ビル三階 ☎ 041-0011 TEL (013) 333-7436 FAX (013) 333-7437 札幌市白石区東札幌六条一丁目一三〇 札幌三信物流ビル四階 ☎ 011-822-1111 TEL (011) 822-1111 FAX (011) 822-1111	 大光電機株式会社 函館事務所 札幌支店 ☎ 064-0804 TEL (011) 561-1806 FAX (011) 561-1809 函館事務所 ☎ 042-0943 TEL (013) 841-6450 FAX (013) 841-6450 札幌市中央区南四条西一丁目二二 TEL (011) 561-1806 FAX (011) 561-1809 函館市乃木町二一パレシヤル九七二階 TEL (013) 841-6450 FAX (013) 841-6450 人とあかりの調和を考える	 パナソニック(株)エレクトロニクス社 北海道電材営業所 函館電材出張所 ☎ 041-0808 函館市桔梗二丁目二四一六 TEL (013) 477-6333 FAX (013) 477-6366	あしたの光で “こころよい” を創ります。 東芝ライテック株式会社 北海道電材営業部函館営業所 ☎ 040-0001 函館市五稜郭町一十四 五稜郭114ビル三階 TEL 五一一六〇〇二 FAX 五一一六〇〇二
電設資材総合卸  新光照明株式会社 ☎ 040-0024 函館市高盛町七番一五 TEL (013) 551-0610 FAX (013) 551-0610 札幌市東区東苗穂十二条三丁目十九番八号 ☎ 011-822-1111 TEL (011) 822-1111 FAX (011) 822-1111	 田中商事株式会社 函館営業所 ☎ 040-0072 函館市亀田町十三番八号 TEL 四〇一〇八〇〇 本社・東京 営業所・札幌、札幌東、釧路 情報社会をパフォーマンスする	未来環境を語る・造る 株式会社 エミヤ 函館営業所 ☎ 041-0824 函館市西桔梗五八九一四九 TEL 四八一五七五一(代表) 本社 札幌・営業所 釧路、苫小牧、小樽	 石垣電材株式会社 ハイテク電気設備機器と情報通信エンジニアリングサービス 本社 ☎ 060-0006 札幌市中央区北六条西一丁目一番地 TEL (011) 221-5222 函館支店 ☎ 041-0824 函館市西桔梗町五八九番地三一五 TEL (013) 491-6211 FAX (013) 491-6211 八雲営業所 ☎ 049-3104 北海道八雲町内浦町二三四一五 TEL (0137) 631-3269